

〔マンデストロビン水和剤〕

農林水産省登録 第23701号
性 状：類白色水和性粘稠懸濁液体
毒 性：普通物
危 険 物：—
有効年限：5 年
包 装：250 ml×20 本、166 ml×40 本

スクレア®フロアブル

有効成分：マンデストロビン……………40.0%

殺菌剤分類 11



農薬ガイドの適用表内(＊)および各項目については、i-農力サイトの「製品情報」や「農薬ガイドを見る」から、「農薬ガイドの見方」をご参照ください。
本剤の最新情報：こちらの2次元バーコードを読み取ると i-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
たまねぎ	灰色腐敗病 小菌核病 灰色かび病	2000 倍	100～300 ℓ	前日	3 回	散布
ピーマン類 とうがらし類	炭疽病 菌核病					
ほうれんそう	萎凋病	1000 倍	1 ℓ /㎡	は種7日後 まで	2 回	灌注
いちご	菌核病 うどんこ病	2000 倍	100～300 ℓ	前日	3 回	散布
しゅんぎく	炭疽病					
トマト ミニトマト	菌核病 斑点病					
なす	菌核病 フザリウム立枯病 褐紋病					
キャベツ レタス 非結球レタス カリフラワー	菌核病					
ブロッコリー	菌核病 黒すす病					
きゅうり はくさ メロイン	菌核病 炭疽病					
すいか	菌核病 つる枯病 炭疽病					
非結球 あぶな 葉菜類	炭疽病					
つるむらさき	紫斑病	3000 倍		7 日前		
豆類 (種実、ただし、 だいず、らっか せいを除く)	菌核病 炭疽病 灰色かび病	2000 倍		前日		
だいず	紫斑病 菌核病 炭疽病 灰色かび病					

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法	
豆類 (未成熟、ただし、 さやえんどうを除く)	菌核病 炭疽病 灰色かび病	2000 倍	100～300 ℓ	前日	3 回	散布	
さやえんどう	褐斑病 褐紋病 菌核病 炭疽病 灰色かび病						
おうとう	幼果菌核病 炭疽病		3000 倍				200～700 ℓ
	褐色せん孔病	2000～ 3000 倍					
もネクタリン	灰星病 黒星病 ホモブシス腐敗病 うどんこ病		3000 倍				
	ぶどう						
りんご	黒星病 輪紋病						
	うどんこ病 モニリア病						
かき	落葉病 うどんこ病 炭疽病 灰色かび病	2000～ 3000 倍					
	なし		黒星病 うどんこ病 輪紋病 心腐れ症（胴枯病菌）				
胴枯病			3000 倍				
小粒核果類 (うめを除く)	黒星病	2000～ 3000 倍					
うめ	環紋葉枯病 黒星病						
茶	輪斑病 新梢枯死症 炭疽病 もち病 網もち病	2000 倍	200～400 ℓ				摘採 3 日前 まで



効果・薬害等の注意

- 使用前に容器をよく振る。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布する。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調製する。
- ぶどうに使用する場合、果粉の溶脱を生じるおそれがあるので注意する。
- なしに使用する場合、花卉の焼け、葉への褐点発生等の薬害を生じるおそれがあるので、次の点に注意する。

- 開花期に使用する場合は、展着剤を加用しない。
- 他の薬剤を混用する場合や展着剤を加用する場合は、事前に薬害の有無を十分に確認してから使用する。
- 気象条件等により散布時や散布後に湿度が高く、薬液が長時間乾かなかった場合は、薬害が生じやすいので、使用しない。
- 施設栽培、トンネル栽培、雨除け栽培などの多湿になりやすい条件下では薬液が乾きにくいおそれがあるため、注意して使用する。
- 高温多湿となりやすい施設栽培の場合は、散布前後に十分な換気を行い、極端な高温多湿となりやすい条件の場合は散布しない。
- 施設栽培で施設内が高温多湿な場合は、薬害を防ぐため散布前後に十分な換気を行う。また、特に極端な高温多湿となりやすい条件の場合は使用しない。
- みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用する。また、使用後14日間は入水しない。
- 乾燥が続く条件下においてほうれんそうに対し灌注で使用する場合、株立数減少などが起きることがあるので注意する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管する。

〔品目特性〕

- 菌核病に優れた効果を示します。
- なし黒星病、もも灰星病、ももホモプシス腐敗病に優れた効果を示します。
- 収穫前日まで使用可能です（ただし、茶は摘採3日前まで、ほうれんそうは種7日後まで、つるむらさは収穫7日前まで）。